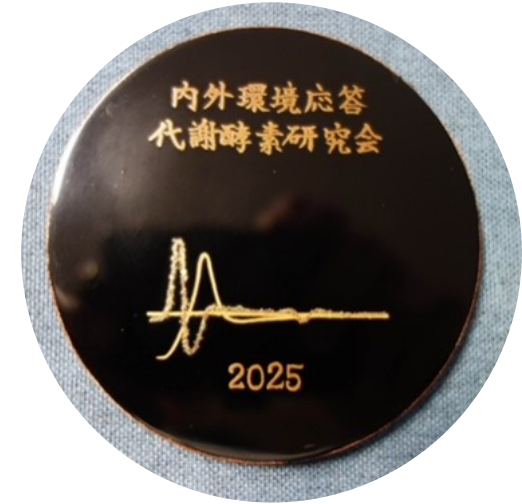




大村メダル



制作者紹介

大曾根俊輔(Shunsuke Osone) 乾漆彫刻家

2002武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻卒業

'04東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻修了

美術院国宝修理所入社 国宝・重要文化財の仏像修復

'15国宝修理所退社 長野県へ移住 工房茶虎開設、動物彫刻を主に制作

'22木曽高等漆芸学院蒔絵科在学 '25修了

'23太田市美術館・図書館にて大曾根俊輔 乾漆彫刻展

'24大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ Works

乾漆を制作の主軸として繊細で写実的な動物の肖像彫刻を手がける

深井公(Hiroshi Fukai) 蒔絵師

1970家業蒔絵就業、父春峯に師事

'76木曽高等漆芸学院入学 師 漆芸家杉下繁氏

'80同校卒業 講師就任

'97伝統工芸士取得

'01NHK文化センター講師

'03全国漆器展理事長連合会長賞

'09日本伝統工芸士会産地功労者表彰

'09神戸市博物館南蛮人洋犬硯箱修復

'16伊勢志摩サミット桜酒杯松竹梅蒔絵担当

'17名古屋城本丸御殿復元工事蒔絵チーム主任

'23長野県美術展県知事賞

Works

父春峯より伝授した錆上高蒔絵による立体的表現の山水画

石本漆器店

当漆器店は長野県塩尻市の漆器の町”木曽平沢”に明治5年に創業しました。

創業者は福井県越前市（旧今立郡今立町）から木曽平沢に漆の販売に来ていましたが、当地に定住を決め漆器店を始めました。現在の当主は五代目になります。漆塗りの器、家具などの製造、建築物建材の漆塗り等、漆に関わる多くの仕事をしております。木曽漆器の伝統と発展に努めています。

今回は大村メダルの制作に参加しました。それぞれの職人さんの技が凝縮された、素晴らしいメダルが出来上がりました事をうれしく思っております。